

希望杯の反省

先日の希望杯は大変お疲れ様でした。各会場からの反省もありがとうございました。本大会の反省を今後に生かしていきましょう。

【試合運営について】

- ・ 試合終了時刻を考えても、昼食タイムは40分間程度とってもよいと思う。(嬉野会場)
→ 30分間では短いようなので、来年度は40分間とりたいと思います。
- ・ テクニカルタイムアウトは、熱中症対策で7点と14点とったが、各会場での確認がとれていなかった。(轟会場)
→ 当日の朝にラインでお知らせしたので、確認できない会場がありました。大変申し訳ございませんでした。来年度は監督会議資料にも載せて確認します。
- ・ 予選後の決勝トーナメントをまっすぐトーナメントがよい。(嬉野会場)
→ 試合数が多いメリットと、指導者も選手も疲労感を感じるデメリットがあります。ので、次年度の検討課題にします。
- ・ 午後からの決勝トーナメントを今年度のような形式で行う場合、決勝戦の審判は三角形の2位の2チームで行う。(3位チームが審判になると、三角形の3試合目と決勝戦と連続審判になる可能性が高いから)
→ 午後からの方法は、次年度の検討課題にしていますが、今年度のような形式で行う場合、決勝戦の審判は三角形の2位の2チームで行います。

【審判・補助員について】

- ・ ラインズマンと得点係のレベルアップを(嬉野会場・吉田会場)
→ 普段の練習や練習試合などで指導をお願いします。また、練習試合時には他チームのラインズマンにも気をかけていきましょう。
- ・ セッターのキャッチボールが気になる。指導が必要(各会場)
→ 各チームで指導することと、試合で審判がきちんとジャッジして、キャッチボールをとってやることも必要だと思います。

【マナーや保護者応援について】

- ・ メガホンを鳴らして応援しているチームがあった。(吉田会場)
→ 鳴り物は禁止と決めているので、各チームで再度、確認と指導をお願いします。また、うちわについては、熱中症対策で使用することはOKだが、応援の道具としてはNG。(うちわをたたいて音を鳴らすなど)